

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	184	男女共同参画講座事業経費	会計	01	一般会計
基本施策	41	あらゆる場に男女がともに参画する社会をつくる	款	02	総務費
担当部課名	島ヶ原 人権政策推進室		項	01	総務管理費
作成者氏名	塩谷 あや子	連絡先	目	19	男女共同参画費
		59-2152	細目	101	男女共同参画推進経費
			細々目	03	男女共同参画講座事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	伊賀市民(個人、法人、その他の団体)	男女が共同して社会に参画し自己実現できるような環境づくりができる。		
本年度事業内容	家庭、地域、職場における男女の役割を見直す講演会の開催			
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	54	53	53
委託料			
報償費	53	50	50
その他	1	3	3
合計(A+B)	3,654	3,653	3,653
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,654	3,653	3,653
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
男女共同参画講演会参加者人数	人	100	150	170			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
男女共同参画講演会参加者人数	参加するの理解度を把握するのが困難なため、本指数を採用	人	100 目標 ()	150	170
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

男女共同参画社会実現の意識改革が必要なため、多くの人たちが参画できるよう事業を開催していく。
--

評価	必要性	4	講演会の開催が必要であるが、市民が進んで参加できる機会を作るよう努めたい。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		